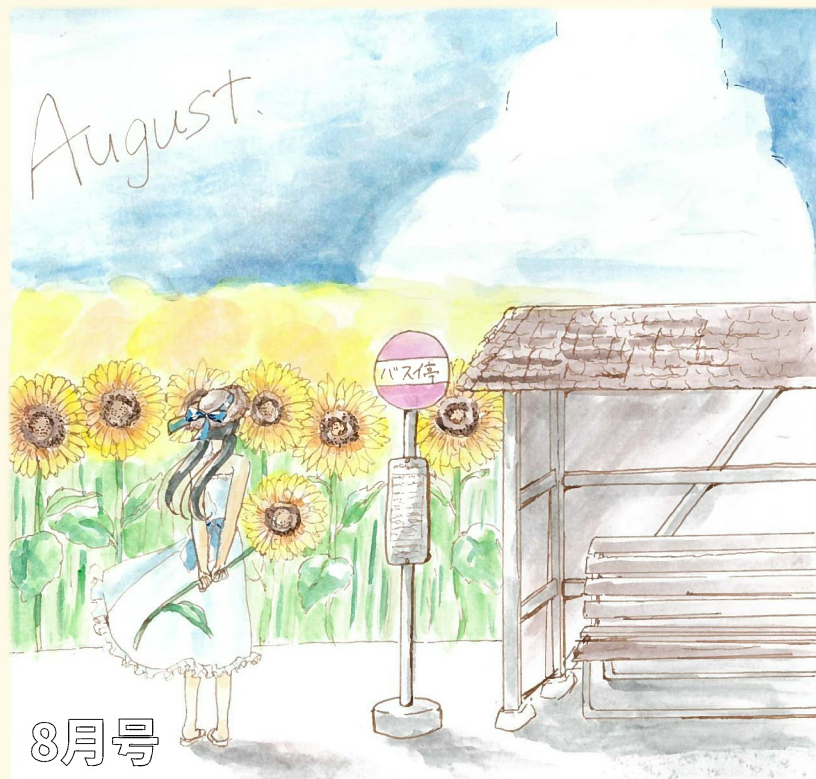


こくりゆう だより



8月号

大阪府立桜塚高等学校 2年 菅野 なつ美

「小学生の頃に祖母の家で見せてもらった、頭より大きなひまわりが印象に残っています。」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



世界のおばけやしき2019

～おばけ迷路に挑戦!～

8月18日(日)①13:30～14:45

②15:00～16:30

(受付は15分前より開始)

世界各国のおばけが登場する、迷路形式のおばけ屋敷を体験。

定員:各回150名(当日先着順)

参加費:1人100円(かき水付)

申込:不要(未就学児は保護者同伴)

おまつり地球一周クラブ

発見!体験!インドネシア

8月24日(土)

10:00～12:00

インドネシア出身の講師からお話を聞き、人形作りなどの体験をする。

対象:小・中学生(保護者同伴可)

定員:15名(申込先着順)

参加費:300円(材料代)

申込:8月19日(月)まで来館・

電話にて受付。

第5回

とよなか国際交流フェスタ

9月7日(土)

10:00～16:00

市民グループによるバザーとステージ発表、登録グループによる活動発表、世界の食べ物や飲み物の販売ほか。(料理販売は11:30～)

参加費:無料

申込:不要





25周年を記念して発行した書籍『外国人と共生する地域づくり〜大阪・豊中の実践から見てきたもの』出版記念フォーラムをすてっぷホールにて開催しました。参加者は102人、島根や静岡、熊本など、遠方からも多くの方にご参加いただきました。

オープニングとしてフィリピン中高年のための居場所づくりの活動「フィリピン・ヤング・アット・ハーツクラブ」のズンバ(ダンス)から始まり、豊中市長・長内繁樹さんからのご挨拶、監修者である牧里毎治さん(関西学院大学名誉教授)の地域福祉と多文化共生についての基調講演を頂きました。その後は、タイトルが「とよなが国際交流協会・大解剖！」とあるように、当協会の活動のエッセンスを集めた4つの分科会においてテーマごとに語り合いました。基調講演と分科会の内容をまとめた報告も別刷りで発行しましたので、詳細はぜひそちらをご覧ください。

(事務局次長・山本愛)



長内市長によるあいさつ



牧里さんによる基調講演



FVAHCによるオープニングズンバの披露



後半の分科会の様子



5月16日~6月6日 開催

多文化子育て支援ボランティア養成講座(全4回)

各講座の様子を簡単にレポートします。全回とも、ワークを交えて参加者同士の意見交流も行いながら実施しました。

◆第1回(5月16日)「続・相手を知り、自分を知ろう！ 〜外国人親子とのコミュニケーションを考える〜」

昨年に引き続き、異文化コミュニケーション・トレーナーの富岡美知子さんに、様々な資料とともに文化による子育て観の違いや異文化コミュニケーションとはどういうことか、お話いただきました。

「異文化コミュニケーション」とは、「文化背景の異なる人々どうしが、建設的な関係を築こうと努力するプロセス」を導入し、そもそも「文化」とは何か、建設的な関係を作るためには何を意識すればよいか、ワークやお話を通じて考えました。



講師の富岡さん

◆第2回(5月23日)「実際の活動について知ろう！ 現役ボランティア・職員からのお話」

とよなが国際交流協会職員よりセンター事業や協会での取組みを紹介したのち、現役の「おやこてにほんご」「多文化子ども保育にこここ」のボランティアから日ごろの取り組みについての紹介がありました。

写真や活動の裏側に込めた想いを現役ボランティアから聞き、新しいボランティアからは活動に対する意欲が一層増した、という声がかげられました。



◆第3回(5月30日)「ボランティアをはじめよう！ 〜子育て支援ボランティアが大切にしたい視点とは〜」

NPO:法人とよながESDネットワーク事務局長の上村有里さんから、多くの子育て支援ボランティアの経験をお話いただきました。

また、「大人が持っている力はどんな力？子どもにしかない力は？」「もし海外で子育てをしたら、何に困るか・どんな場があったら安心か」などについて参加者同士で考えました。



講師の上村さん

◆第4回(6月6日)「多文化保育の実践を知ろう！ 〜わたしたちが地域でできること〜」

大阪国際大学名誉教授の谷口正子さんより、海外での子育て経験と多文化保育との出会い、その後の外国人保護者に行った経年のアンケート調査の結果をもとに外国人保護者のニーズについてお話いただきました。

ボランティアからは、アンケート調査によって時代が変わっても保護者の困りごとは変わらなかったことなどに驚きの声がかげられました。



講師の谷口さん

今年は、15人が新たに子育て支援ボランティアとして活動を始めました。皆さんのご活躍を期待しています！

(協会職員・山本房代)



『82年生まれ、キム・ジョン』(チョ・ナムジュ著、斎藤真理子訳・筑摩書房)

韓国でも日本でも話題になっている『82年生まれ、キム・ジョン』は、小説だけど実際にどこかで存在しているのではないかと勘違いするほど、とてもリアルな話です。「キム・ジョンは、私にもあなたにも似ているよ」と相談員の吉嶋さんに言われて読み始めましたが、その意味はすぐに理解できました。そうだ、私も聞きたかったかも、この言葉が欲しかったかも、と思う本でした。

キム・ジョンは夫のデヒョンと一人の子をもつ主婦です。突然自分のことを他人のように語る人が多くなって精神科で治療を受けるなかで、女性として誰もが当たり前だと思ってきたことに共感し、最後まで私の心に響きました。女性として出会う困難、差別、混乱、挫折はまるで私やすべての女性の話でもある感じでした。最後のページになった時には、お母さんとして、娘として、女性として生きている人に応援と尊敬の気持ちが湧いてきました。

(多言語相談サービス事業韓国語スタッフ・朴貞淑)

今回は、とよなか国際交流協会評議員の村上さんにお話を伺いました。

国際交流協会設立当時、構成団体の一員として事業に参画させていだいてから十数年ぶりに再び関わらせていただくことになりました。なかなか行事には参加できませんが、事業評価会での協会事業、地域に住む外国の方のために様々なボランティアをされている皆さんの活動報告に興味深く感心しながら聴かせていただいています。

昨年、「千里にほんご」でのにほんご交流活動の保育ボランティアお手伝いの話があり、私にもできることがあればと1ヶ月に一度、千里コラボで行われている「千里にほんご」に参加させて頂いています。子どもたちの親離れの難しい年齢と通じない言葉に悩まされながらも、学習者さんの日本語を学びたい

という熱心さとボランティアさんの熱意に打たれ頑張っています。先日「ABCの歌」を中国語で歌っているのを聞き、思わず一緒に口ずさみ、歌は年齢問わず万国共通であることを改めて実感しました。

センターの活動を少しでも多くの方に伝え、国際交流が遠いところでなく誰もが気軽に足を運べる場所であって欲しい。そんな願いで微力ながらお手伝いしたいと思っています。

是非一度『国際交流センター』に足を運んでみてください。



とよなか国際交流協会
評議員
村上 深雪さん

コラム
外国人相談
あれこれ

第51回 「通訳は信頼関係。通訳者は命綱。」



吉嶋かおり (外国人のための多言語相談サービス・相談員)

外国人が情報や状況を理解するために、日本語ではなく母語が必要な場合は多く、外国人支援の中でも大きな業務であり、目的でもあります。正しく情報が得られなければ、適切な判断が難しくなったり、利用できるはずの様々なサービスを受けられなくなったりします。

多言語相談サービスでは、多言語スタッフを配置し、これを担ってもらっています。多言語スタッフは通訳者ではありません。通訳者は、私の話を正確に通訳してもらうことが業務になりますが、多言語スタッフには、私の話を通訳しながら、相談員として対応してもらい、という役割を期待しています。相談者と多言語スタッフと私がチームで進めている、というような感じです。

相談内容がややこしかったりすると、私の話を母語で伝えるのも難しくなります。また特に、心理カウンセリング対応をしているときは、通訳を介して私のニュアンスを伝えてもらうのは、なかなか難しいものです。相談中、私は、私が言っていること、伝えたいことが、相談者に伝わっているかどうかを注意深く見ています。相談者の返答内容だけでなく、表情など、相談者の様子全体に注目していると、私の意図が伝わってなさそうだ…ということはすぐにわかります。そう思ったら、多言語スタッフに確認します。多言語スタッフも理解していないかもしれません。その場合は、多言語スタッフとまず話し合います。そうやって、三者のコミュニケーションがスムーズにしているかどうかを、常に追いつながら進めます。

Aさんは、別の機関で相談と、支援を受けなければならない手続きがあり、こちらから連絡して対応をお願いしました。通訳は先方が配置しました。その後、Aさんは私たちのところに来て、「もうあそこには行かない」と泣きながら訴えました。通訳者がAさんを個人的に非難するようなことを言ったり、別の相談者の状況について話したりしたそうです(守秘義務違反です!)。とても残念な出来事でした。その支援が受けられないとなると、他の手段は困難ですし、大きく方針を検討し直さなければなりません。おそらく、支援者は通訳者に説明し、相談者を見ていなかったのでしょう。また、通訳を介しての支援に慣れていなかったのかもしれない。

母語支援が必要な外国人にとって、通訳者はたった一つの窓口になります。そこからしか、先が見えません。通訳者の役割と責任はとても大きなものです。しかし今の日本では、公共サービスとしての通訳者の養成や、何よりも、通訳業務への適切な支払いがありません。「母語なんだからできるだろう」と思っているのではないかと思うぐらい、安易なボランティアとして捉えているところが非常に多く見られます。そして、通訳者の資質向上はもちろんです。最も責任をとらなければならないのは、支援者(機関)です。在住外国人支援が全国的に求められている中、しっかりと取り組まなければならない問題だと思えます。

【イベント告知】 世界のおぼけやしき2019 ~おぼけ迷路に挑戦!~

昨年、初開催にして来場者約300名という大盛況に終わった世界のおぼけ屋敷。

親子連れの来場者が多く来られていましたが、大人だけ、子どもだけの来場者も絶叫必至の恐怖体験になった様子でした。そして今年は昨年の課題を改善し、さらにパワーアップした、あらゆる年齢の人が楽しめるおぼけ屋敷を計画しています。

この夏まだおぼけ屋敷に行っていない!世界のおぼけを見てみたい!と思うあなたにぴったりの空間が、エトレ豊中の6階で首を長くして待っています。

とよなか国際交流センターへ、世界のおぼけに会いに行こう!!(協会職員・三木幸美)

会場内には布くないおぼけもたくさんいるよ~

世界のおぼけやしき2019

日時: 8月18日(日) ①13:30~ ②15:00~

場所: とよなか国際交流センター

対象: 各回150名(申込不要・当日先着順)

参加費: 1人100円(おき氷付き)

2019

8月

の事業開催カレンダー

赤字はイベントです。イベントの詳細は表紙下部をご覧ください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
29 もて 休館日	30 学業多 15:00~19:00	31 休館日	01 木ひる にこにこ 千里	02 金あさ にこにこ 相談 おたのしみ会 学業多 14:00~16:00	03	04 貸室利用抽選会 目的利用：～11月末まで 一般利用：～10月末まで
05 もて 学業多 インテンシブ 学業多 14:00~16:00	06 学業多	07 休館日	08	09 金あさ にこにこ 相談	10	11 山の日 若者
12 振替休日	13	14 休館日	15	16 相談	17	18 がらや サンプル 若者 世界のおばけやしき 13:30~21:50
19 もて 学業多 インテンシブ 学業多 14:00~16:00	20 学業多 15:00~19:00 学業多 インテンシブ サンプル 10:00~12:00	21 休館日	22 木ひる にこにこ 千里 学業多 インテンシブ サンプル 10:00~12:00	23 金あさ にこにこ 相談 学業多	24 おまつり地球一周クラブ 10:00~12:00	25 がらや 相談 サンプル 若者
26 もて	27 学業多	28 休館日	29 木ひる にこにこ 千里	30 金あさ にこにこ 相談 学業多	31	01

センターが主催する定例事業*

月曜日…もとももつつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象	10:00~12:00
火曜日…おやこでにほんご (千里・岡町・市内の各図書館で実施)	10:00~12:00
子ども学習広場「学業多」 (市内ガダバで実施)	16:30~21:00
木曜日…とよなかにはんご・木ひる	13:30~15:20
多文化こども保育にこにこ	13:30~15:30
千里にはんご (千里文化センターコラボで実施)	10:00~11:30
金曜日…とよなかにはんご・金あさ	10:30~12:00
多文化こども保育にこにこ	10:30~12:00
外国人のための多言語相談	11:00~16:00
子ども学習広場「学業多」	17:00~19:00
日曜日…にちようがちゃがちゃだん	10:00~12:00
こどもも母語※第2.4日曜日のみ	10:00~12:00
学習支援サンプルイス	13:00~15:00
若者のたまりば	17:00~20:00

場所の記載のないものはとよなか国際交流センターで実施しています。
定例事業の参加についてはとよなか国際交流協会にお問い合わせください。

今月のピックアップ

外国にルーツを持つ子どもの学習支援・居場所づくり「サンプルイス」

【8月の活動日】 8月18日(日)、25日(日)13時~15時
8月20日(火)、22日(木)10時~12時

「サンプルイス」は外国にルーツを持つ子どもを対象とした活動で、大学生・大学院生ボランティアと一緒に、学校の宿題をしたり、おしゃべりをしたり、ゲームや卓球をして遊んだり、楽しい時間を過ごすことが出来る場です。第一日曜日を除く毎週日曜日の13時~15時に活動をしています。外国にルーツをもつボランティアもいます。

8月は夏休みの宿題をサポートするために、インテンシブとして活動日を増やします！

申し込みは不要、参加費は無料です。学生のお兄さん、お姉さんに教えてもらいながら、一緒に夏休みの宿題をやっつけましょう！！



とよなか国際交流センターおしらせ

「こくりゅうだより」第124号(2019年8月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F

(阪急宝塚線豊中駅すぐ)

開館時間:9:00~21:30(貸室受付は20:00まで、水曜休館)

TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375

E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/



SNSも随時更新中！

多言語情報も
配信しています！



「とよなか国際交流センター」で検索！